

経腸栄養剤の味と服薬アドヒアランスの関係についての  
薬剤師調査 結果報告書

2015年7月24日 株式会社QLife

## 主な結論

急速な高齢化の進展に伴い、がん治療をはじめ、さまざまな場面で経腸栄養剤の導入が進んでいる。また、「病院から在宅へ」の流れが加速する中、経腸栄養剤が処方されるケースが増加している。

今回の調査結果から、

薬剤師は、経腸栄養剤の良好なアドヒアランスの維持において、味の良さとバリエーションの豊富さが非常に重要であると感じており、積極的に患者に情報提供を行っていること。

そして、その結果として、患者自身が味を選択することで、患者満足が高まったことを実感していることが分かった。

今回の調査を監修した、一般社団法人日本在宅薬学会 理事長、一般社団法人薬剤師あゆみの会 理事長の医師・狭間研至先生は、今回の調査結果からみた、経腸栄養剤の処方における薬剤師の役割について、「低栄養状態にある患者さんにとって、経腸栄養剤の味が選べることは、そのまま“患者さん自身がチーム医療の一員として積極的に治療に参加する”ことにもつながります。患者さんの治療意欲が上がれば、経腸栄養剤だけでなく、治療中の疾患の服薬アドヒアランスも向上するのは明らかです。患者さんの日々の生活の変化を感じ取り、必要があれば医師にフィードバックを行う。それを実践することで、患者さんに“単に薬だけを渡す”薬剤師から、患者さんに“薬とともに健康を渡す”薬剤師にステップアップできると思います。」とコメントした。

## 結果概要

■ **薬剤師は経腸栄養剤は味の良さ、バリエーションの豊富さが服薬アドヒアランスの向上につながると考えている**  
アドヒアランス向上に役立つと思われるもの「味が良い」87.6%、「味の種類が多い」56.4%。

日によって味を変えてあげたい「とてもそう思う」「ややそう思う」84.4%。

新しい味が出たら患者さんに薦めたい「とてもそう思う」「ややそう思う」81.2%。

■ **経腸栄養剤の味について、薬剤師は積極的に患者さんに情報提供をしている**

味の種類についての情報提供「ある」77.2%

経腸栄養剤「実際に飲んだことがある」80.4%、味見しておくことは重要「とてもそう思う」「ややそう思う」92.4%

患者さんへのアドバイス「温度の工夫」「味・形状の工夫」「服用タイミング・1回の服用量の工夫」。

■ **半数以上が2種類以上の味を処方。患者さんから味の指定や変更要望7割以上「ある」**

患者さんから味の指定「ある」84.8%、「質問や相談受ける」66.0%。

質問・相談の内容「別の味に変更したい」71.5%、「別の味も追加したい」58.2%。

実際に処方する味の種類「3種類以上」24.8%、「2種類」32.0%、「1種類」43.2%。

■ **患者さん自身が選択する&処方している味の種類が多いと患者満足度も高い**

患者さん自身が味を選択したことで喜ばれた経験「ある」69.6%。

味の種類「2種類」処方した薬剤師で喜ばれた経験「ある」80.0%。

# 調査実施概要

## ▼調査主体

株式会社QLife(キューライフ)

## ▼実施概要

- (1) 調査対象とサンプル数：経腸栄養剤の調剤経験のある薬剤師250名
- (2) 有効回収数：250人
- (3) 調査方法：インターネット調査
- (4) 調査時期：2015/6/13～2015/6/16

## ▼調査対象内訳

(1) 性別・年代

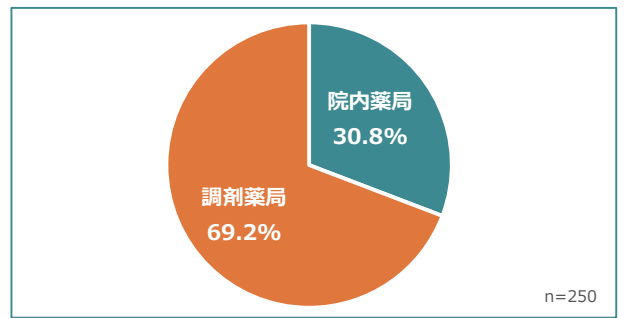
	男性	女性	n	男性	女性	%
20代	6	11	17	4.1%	10.7%	6.8%
30代	39	40	79	26.5%	38.8%	31.6%
40代	54	29	83	36.7%	28.2%	33.2%
50代	39	16	55	26.5%	15.5%	22.0%
60代	9	7	16	6.1%	6.8%	6.4%
総数	147	103	250	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 居住地

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
6.8%	1.2%	0.4%	2.8%	1.6%	0.8%	0.8%	1.6%	2.8%	1.6%
埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
5.6%	3.2%	10.0%	6.4%	1.2%	1.2%	0.4%	0.0%	0.4%	0.8%
岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
3.2%	1.2%	6.4%	1.2%	2.0%	1.2%	6.0%	5.6%	1.6%	1.2%
鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
1.2%	0.4%	1.2%	2.4%	0.8%	0.4%	1.6%	0.8%	0.0%	5.2%
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県			
0.4%	1.6%	1.2%	1.6%	0.8%	0.4%	0.8%			

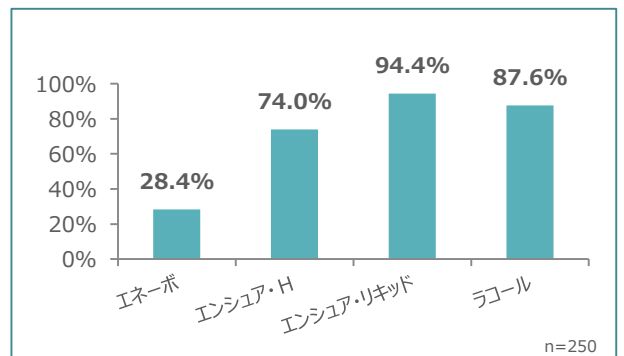
(3) 勤務先

	n	%
院内薬局	77	30.8%
調剤薬局	173	69.2%
ドラッグストア	0	0.0%
薬局で勤めていない	0	0.0%
総数	250	100.0%



(4) 調剤経験のある経腸栄養剤（半消化態栄養剤）【複数回答】

	n	%
エネーボ	71	28.4%
エンシュア・H	185	74.0%
エンシュア・リキッド	236	94.4%
ラコール	219	87.6%
この中のどれも調剤したことが無い	0	0.0%
小計	711	284.4%
総数	250	



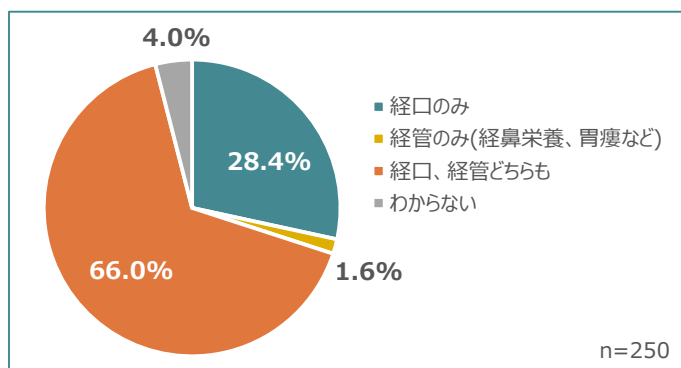
## 調査結果

【Q1】これまで経腸栄養剤(半消化態栄養剤)を調剤した患者さんの投与経路について教えてください。

「経口、経管どちらも」とした回答が最も多く66.0%だった。次いで「経口のみ」が28.4%だった。

n=250

	n	%
経口のみ	71	28.4%
経管のみ(経鼻栄養、胃瘻など)	4	1.6%
経口、経管どちらも	165	66.0%
わからない	10	4.0%
総数	250	100.0%

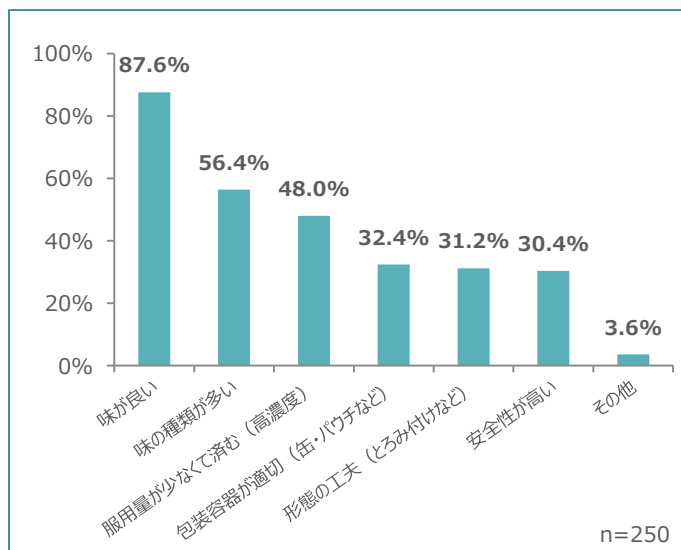


【Q2】経腸栄養剤に関して、患者さんのアドヒアランス向上に役立つと思われるものを全て選択してください。【複数回答】

「味が良い」が最も多く87.6%がアドヒアランス向上に役立つと回答。次いで、「味の種類が多い」(56.4%)、「服用量が少なくて済む」(48.0%)の順となった。

n=250

	n	%
味が良い	219	87.6%
味の種類が多い	141	56.4%
服用量が少なくて済む(高濃度)	120	48.0%
包装容器が適切(缶・パウチなど)	81	32.4%
形態の工夫(とろみ付けなど)	78	31.2%
安全性が高い	76	30.4%
その他	9	3.6%
小計	724	289.6%
総数	250	

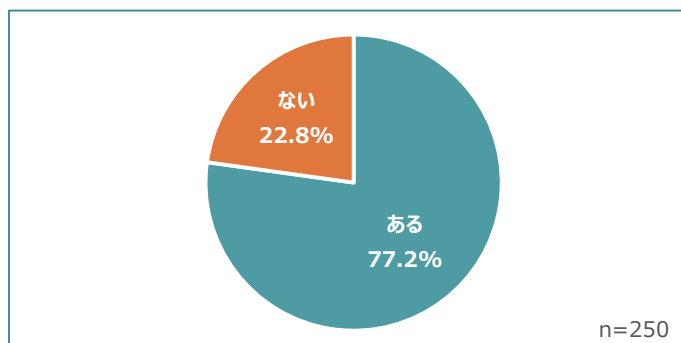


【Q3】患者さんに経腸栄養剤の味の種類について情報提供することはありますか？

77.2%が情報提供をすると回答した。

n=250

	n	%
ある	193	77.2%
ない	57	22.8%
総数	250	100.0%

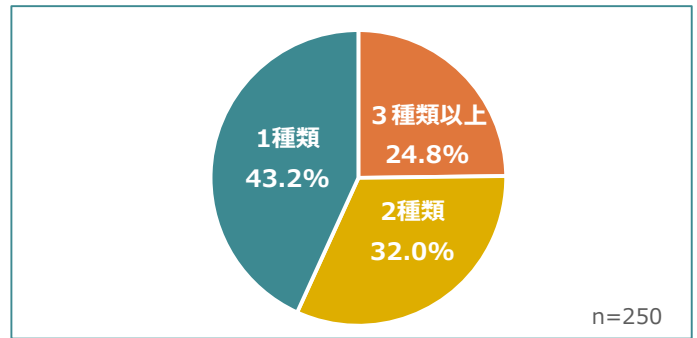


#### 【Q4】経腸栄養剤の処方1回あたり何種類の味を出すことが多いですか？

「3種類以上」が24.8%、「2種類」が32.0%と、半数以上が複数の味の種類を処方している。

n=250

	n	%
3種類以上	62	24.8%
2種類	80	32.0%
1種類	108	43.2%
総数	250	100.0%

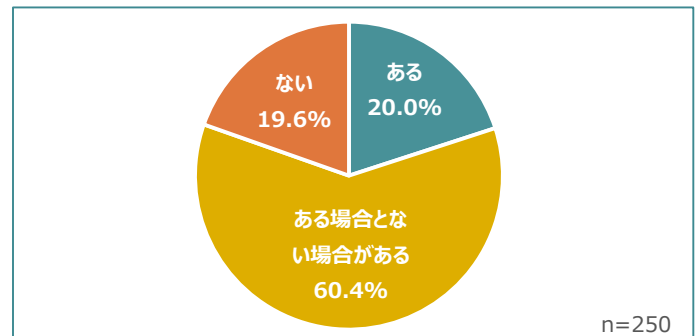


#### 【Q5】処方箋に経腸栄養剤の味の記載（医師による指定）はありますか？

20.0%が医師による味の指定が「（毎回）ある」と回答。「ない」と回答したのは19.6%だった。

n=250

	n	%
ある	50	20.0%
ある場合とない場合がある	151	60.4%
ない	49	19.6%
総数	250	100.0%

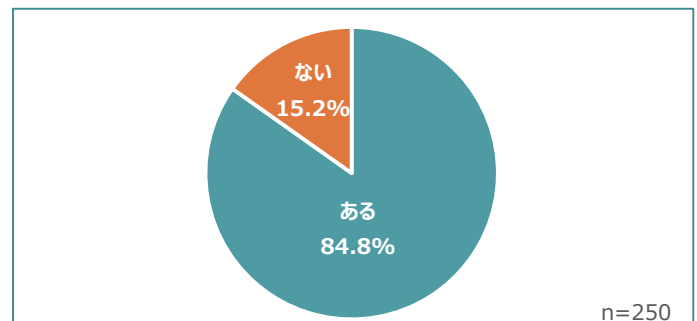


#### 【Q6】患者さん側から経腸栄養剤の味を指定されることはありますか？

84.8%が患者さんから味の指定を受けたことがある。

n=250

	n	%
ある	212	84.8%
ない	38	15.2%
総数	250	100.0%

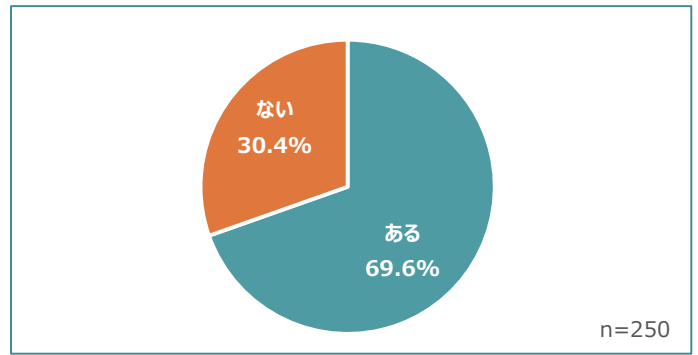


### 【Q7】患者さん自身に経腸栄養剤の味を選んでもらったことで、患者さんに喜ばれた経験はありますか？

69.6%が患者さんに喜ばれた経験があると回答した。

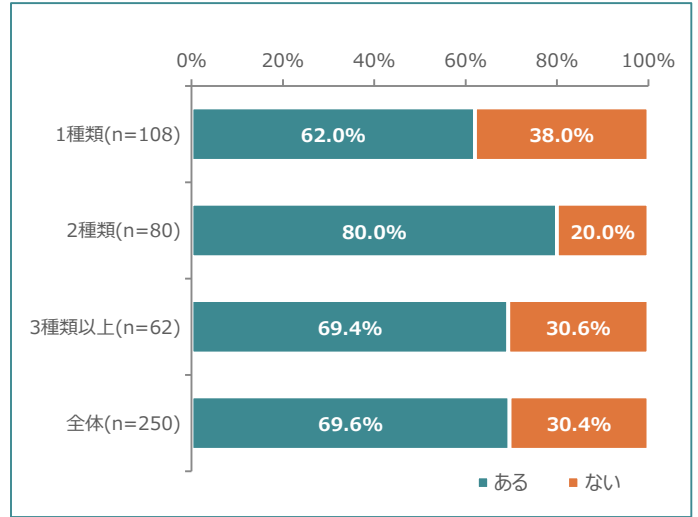
n=250

	n	%
ある	174	69.6%
ない	76	30.4%
総数	250	100.0%



Q4の処方した味の種類数別での集計では、1種類では62.0%、2種類では80.0%、3種類では69.4%が喜ばれた経験があると回答した。

	ある	ない	n	%
1種類	67	41	108	62.0%
2種類	64	16	80	80.0%
3種類以上	43	19	62	69.4%
全体	174	76	250	69.6%

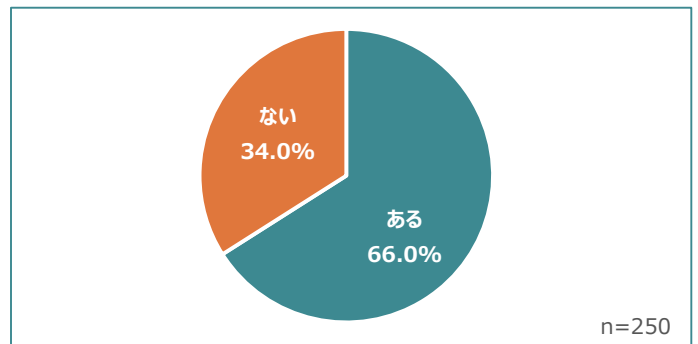


### 【Q8】経腸栄養剤に関して、患者さん・介護者から質問や相談を受けたことがありますか？

66.0%が質問や相談を受けたことがある。

n=250

	n	%
ある	165	66.0%
ない	85	34.0%
総数	250	100.0%

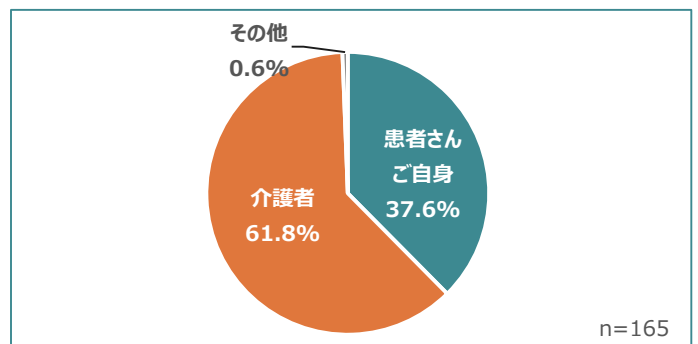


### 【Q9】患者さんご自身と介護者どちらからの質問や相談が多いですか？

患者さん本人が質問してきた、と回答したのは、質問を受けたことがある薬剤師のうち、37.6%だった。

n=165

	n	%
患者さんご自身	62	37.6%
介護者	102	61.8%
その他	1	0.6%
総数	165	100.0%

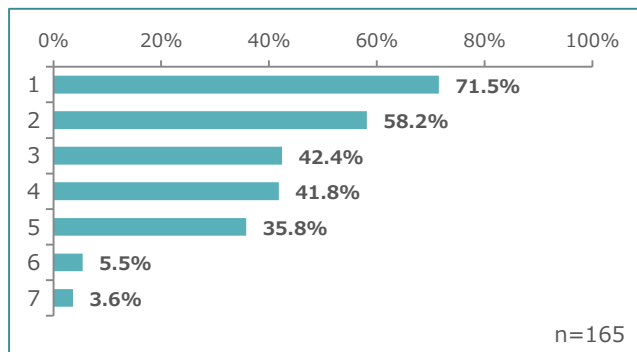


【Q10】患者さん・介護者に質問や相談された内容について当てはまるものを全て選んでください。【複数回答】

質問内容については、「今の味が嫌で、別の味に変更したい」71.5%、「今の味は良いが、別の味も追加したい」58.2%と、味についての質問が上位を占めた。

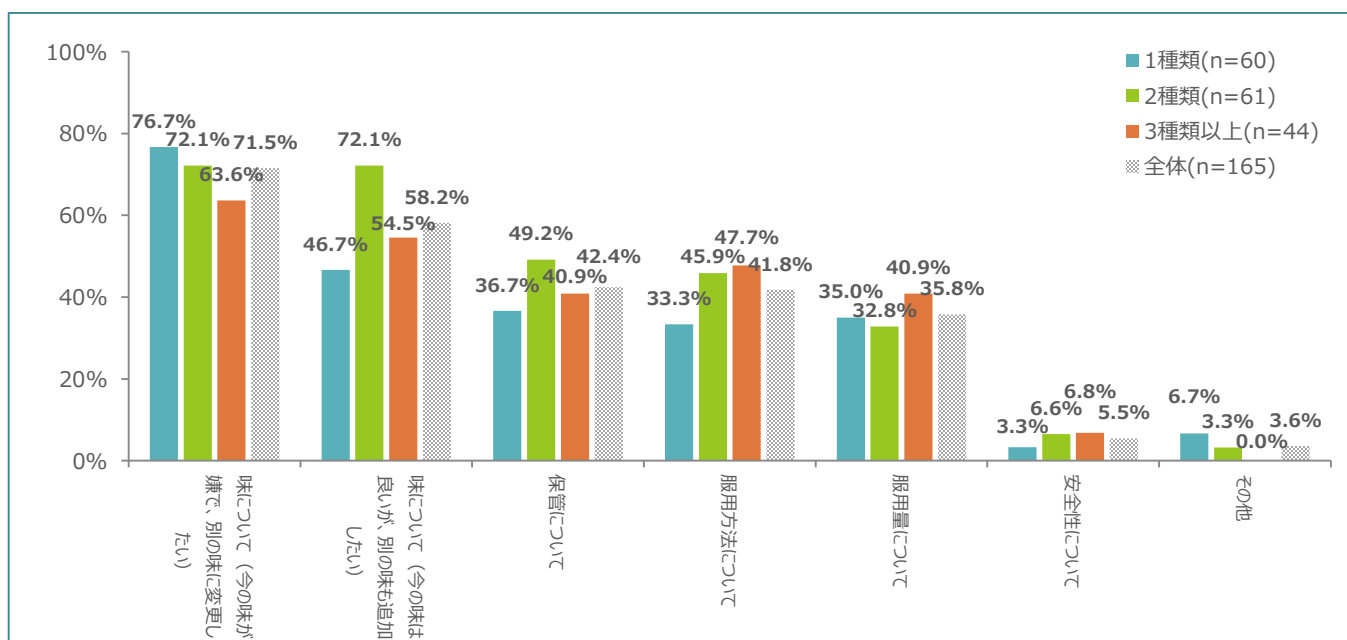
n=165

	n	%
1.味について(今の味が嫌で、別の味に変更したい)	118	71.5%
2.味について(今の味は良いが、別の味も追加したい)	96	58.2%
3.保管について	70	42.4%
4.服用方法について	69	41.8%
5.服用量について	59	35.8%
6.安全性について	9	5.5%
7.その他	6	3.6%
小計	427	258.8%
総数	165	



Q4の処方した味の種類数別での集計では、処方した味の種類別では、「今の味が嫌で別の味に変更したい」という相談が、種類が少ないほど多く、また、「今の味は良いが別の味も追加したい」という相談が2種類で最も多かった。

	味について (今の味が嫌で、 別の味に変更 したい)	味について (今の味は良い が、別の味も 追加したい)	保管について	服用方法に ついて	服用量に ついて	安全性に ついて	その他	n %
1種類	46	28	22	20	21	2	4	60
	76.7%	46.7%	36.7%	33.3%	35.0%	3.3%	6.7%	238.3%
2種類	44	44	30	28	20	4	2	61
	72.1%	72.1%	49.2%	45.9%	32.8%	6.6%	3.3%	282.0%
3種類以上	28	24	18	21	18	3	0	44
	63.6%	54.5%	40.9%	47.7%	40.9%	6.8%	0.0%	254.5%
全体	118	96	70	69	59	9	6	165
	71.5%	58.2%	42.4%	41.8%	35.8%	5.5%	3.6%	258.8%

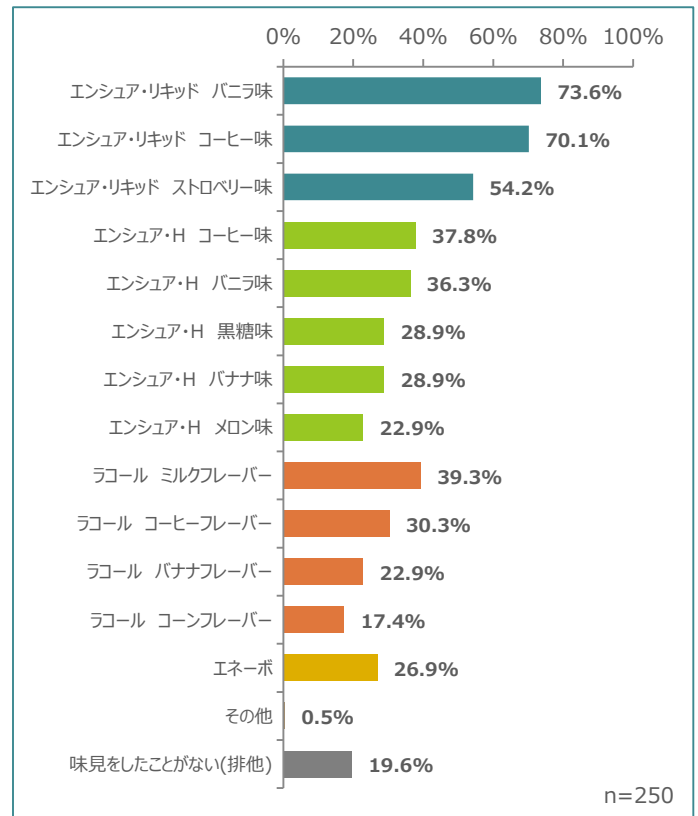


**【Q11】次の経腸栄養剤のうち、ご自身で実際に味見したことがあるものを教えてください。【複数回答】**

味見をしたことがある、と回答したのは全体の80.4%。ブランド別では「エンシュア・リキッド」が最も多かった。

n=250

	n	%
エンシュア・リキッド バニラ味	148	73.6%
エンシュア・リキッド コーヒー味	141	70.1%
エンシュア・リキッド ストロベリー味	109	54.2%
エンシュア・H コーヒー味	76	37.8%
エンシュア・H バニラ味	73	36.3%
エンシュア・H 黒糖味	58	28.9%
エンシュア・H バナナ味	58	28.9%
エンシュア・H メロン味	46	22.9%
ラコール ミルクフレーバー	79	39.3%
ラコール コーヒーフレーバー	61	30.3%
ラコール バナナフレーバー	46	22.9%
ラコール コーンフレーバー	35	17.4%
エネーボ	54	26.9%
その他	1	0.5%
	201	490.0%
味見をしたことがない(排他)	49	19.6%
総数	250	

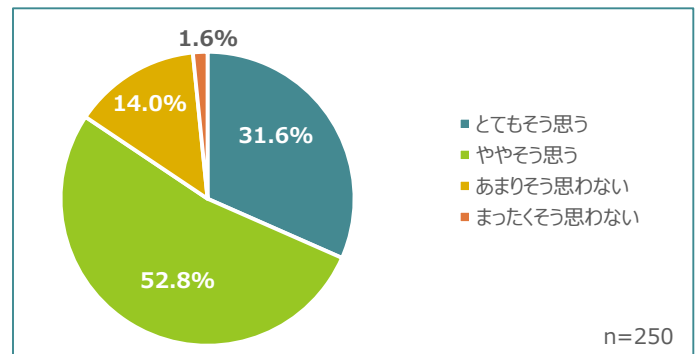


**【Q12】同じ患者さんでも日によって味を変えてあげたいと思いますか？**

84.4%が日によって味を変えることについて「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した。

n=250

	n	%
とてもそう思う	79	31.6%
ややそう思う	132	52.8%
あまりそう思わない	35	14.0%
まったくそう思わない	4	1.6%
総数	250	100.0%

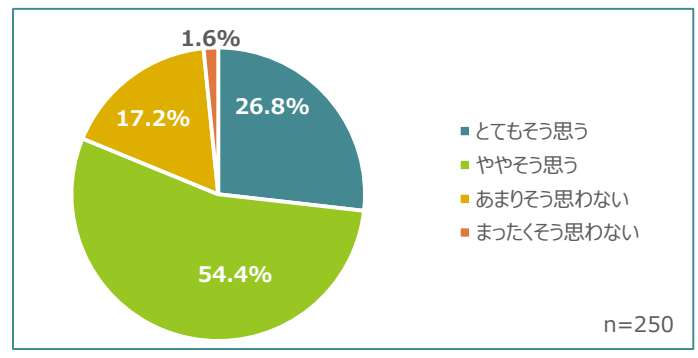


**【Q13】今後、新しい味が発売されたら、患者さんに薦めてみたいと思いますか？**

81.2%が新しい味が登場した場合、患者さんに薦めることについて「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した。

n=250

	n	%
とてもそう思う	67	26.8%
ややそう思う	136	54.4%
あまりそう思わない	43	17.2%
まったくそう思わない	4	1.6%
総数	250	100.0%



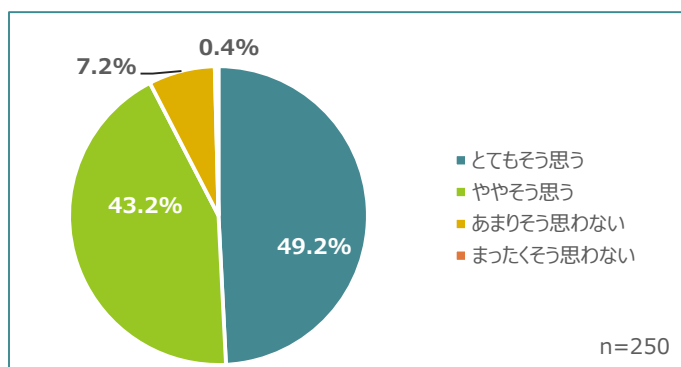


### 【Q14】ご自身で味見をしておくことは、患者さんと話すうえで重要だと思いますか？

92.4%が味見をしておくことの重要性について「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した。

n=250

	n	%
とてもそう思う	123	49.2%
ややそう思う	108	43.2%
あまりそう思わない	18	7.2%
まったくそう思わない	1	0.4%
総数	250	100.0%

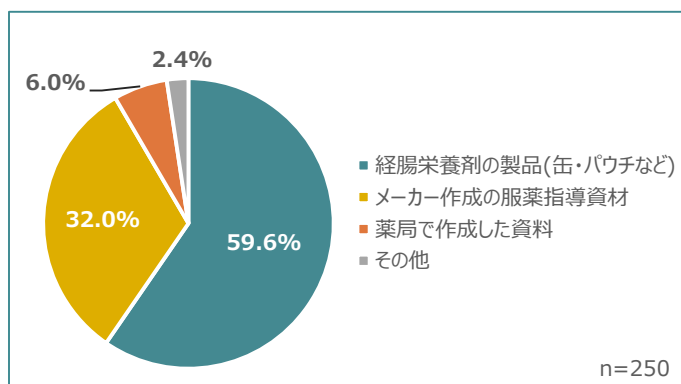


### 【Q15】患者さんへの経腸栄養剤の服薬指導時に使う資料として最も多いものを教えてください。

59.6%が製品そのものを服薬指導資料として最も多く使用している。

n=250

	n	%
経腸栄養剤の製品（缶・パウチなど）	149	59.6%
メーカー作成の服薬指導資料	80	32.0%
薬局で作成した資料	15	6.0%
その他	6	2.4%
総数	250	100.0%



### 【Q16】経腸栄養剤のアドヒアランス向上に関して、特に注意または工夫して服薬指導していることがあれば教えてください。

「温度の工夫」「味・形状の工夫」「服用タイミング・1回の服用量の工夫」についてアドバイスをしている、という回答が多かった。代表的なコメントを下記に記載する。

#### ■ 温度の工夫

- ・甘いようであれば、冷やして飲むよう指導しています
- ・あまり冷やさないで、ゆっくり飲む
- ・冷やして飲むように指導している
- ・冷やした方が服用しやすい
- ・冷やして服用すると味の濃さを感じない
- ・冷やして飲む方がおいしい
- ・氷のブロックにしてデザート感覚でもOK

#### ■ 味の工夫

- ・味に飽きてしまったら季節によって冷やしたり温めて飲むことを薦めたり、パナコ味に好きな風味を足して飲むように話している
- ・味に飽きたときにはほかの味を紹介する
- ・2種類混ぜたり薄めたりとろみをつけたり料理に使ったり
- ・味が濃いと感じたら水で薄めて飲んで良い
- ・一気に服用せず、ゆっくり流したり、薄めて流したり、ゼリー状にするなど方法を提案する
- ・味に飽きてきていないか？ 残薬確認。飲みにくいのか？ とろみをつけるなどの工夫があるなどのお知らせ
- ・飽きないよう患者さんの好みを聞きつつできるだけ 味の種類を多くする
- ・経口で摂取する患者さんや介護者には、味だけでなく、ゼリーや寒天で固めることによる形を変えた服用方法あることなどマンネリ化を防ぐ手立てがあることなどを指導している
- ・飲みにくい場合はゼリーにするなどアドバイスしている

#### ■ 服用タイミング・1回の服用量の工夫

- ・自宅で経口摂取する患者さんに対しては、記載の用法にこだわらず、のめる時にのめる量をこまめに摂るよう助言することが多い
- ・一度に無理せず飲める量を少しずつ摂ること
- ・すこしずつでも飲んでもらうようにする
- ・食後や服用時点は気にせず1日しっかり必要量を服用することが大切だということを伝える

#### ■ 本調査に関するお問い合わせ先

株式会社QLife 広報担当 田中智貴  
TEL : 03-3500-3235 / E-mail : info@qlife.co.jp

#### ■ 株式会社QLifeの会社概要

会社名 : 株式会社QLife (キューライフ)  
所在地 : 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-1 ポッシュビル赤坂7F  
代表者 : 代表取締役 山内善行  
設立日 : 2006年(平成18年)11月17日  
事業内容 : 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業  
企業理念 : 医療と生活者の距離を縮める  
URL : <http://www.qlife.co.jp>